Kodak

i100 シリーズスキャナ

ユーザーズガイド

A-61514_ja

コダック iNnovation シリーズスキャナ

目次

はじめに **1**
スキャナの機能 1
用紙搬送機能 2
速度／容量（スループット） 2
イメージ品質機能 2
メンテナンス 2
原稿のスキャン準備 3
推奨される原稿 3
安全性に関する情報 4
警告ラベル 4
ユーザへの注意事項 4
安全性および規制に関する機関の承認 5
環境に関する情報 5
騒音 5
電源システム 5
EMC 声明 6
米国 6
日本 6

スキャナの接続 **7**
設置場所について 7
システム要件 7
最小システム構成 7
推奨システム構成 8
スキャナの開梱 8
スキャナのユーザ登録 8
梱包シートの取り外し 9
スキャナのコンポーネント 9
前部 9
後部 10
側部 10
内部 11
接続設定 12
IEEE-1394（FireWire）カードのホストコンピュータへのインストール 12
コダック ドライバソフトウェアのインストール 12
IEEE-1394（FireWire）ケーブルの取り付け 12
電源のセットアップ 13
入力トレイと出力トレイ 16
入力トレイの接続 16
出力トレイの接続 16
延長トレイとサイドガイド 16
出力トレイの調節 17
入力トレイと出力トレイの収納 17

スキャナの使用方法 18
スキャンの開始および停止 18
自動給紙 18
連続給紙 19
手動給紙 19
破損した原稿 20

メンテナンス 21
スキャナのクリーニング 21
セパレータモジュールのクリーニング 22
フィードモジュールのクリーニング 23
ドライブローラおよび搬送部のクリーニング 24
イメージングガイドのクリーニング 25
搬送路のクリーニング 26
部品の交換 26
スキャナのキャリブレーション 27

トラブルシューティング 28
インジケータライト 28
サービスインジケータライト 28
ランプ 29
紙詰まりの取り除き方 29
セパレータモジュールの張力の調節 29
システムが応答しない場合 30
カラーイメージ品質 30
問題の解決 31
スキャナの輸送 33

付録 A 仕様 A-1

付録 B 消耗品およびアクセサリ B-1

はじめに

コダック i100 シリーズスキャナを接続して操作する前に、このガイドをお読みください。このガイドには、スキャナの接続、使用、メンテナンスに関する重要な説明が記載されています。

- *コダック* スキャナ i150 は、オートドキュメントフィーダを備えたデスクトップ用*片面*カラースキャナです。
- *コダック* スキャナ i160 は、オートドキュメントフィーダを備えたデスクトップ用*両面*カラースキャナです。

スキャナの機能

- 優れたペーパーハンドリング、イメージ品質および信頼性
- カラーを白黒およびクレースケールと同速度でスキャン
- カラーおよび白黒の同時出力
- クロッピング機能でイメージの縁の黒線を除去
- 使用とメンテナンスが簡単
- さまざまな種類の用紙重量および用紙サイズに対応
- コンパクトなサイズで、デスクやテーブルの上に場所を取らずに設置が可能
- 低ノイズレベル
- 簡単な接続
- 各スキャナに付属の CD に ISIS および TWAIN デバイスドライバを収録
- 多言語サポート
- 自動重送検知
- 両スキャナモデルが世界各国での使用に適した複数の電源要件に対応
- 赤、緑、青のエレクトロニックカラードロップアウト

用紙搬送機能

- 自動給紙および手動給紙
- 原稿の長さおよび厚さによる重送検知
- オペレータ補助による「連続的」に一枚ずつ給紙する機能を備えたオートドキュメントフィーダ（ADF）

速度／容量（スループット）

1 分当たりのページ数（ppm）で表された以下の速度は、カラー、グレースケール、および白黒出力の場合です。

解像度	横（A4）		縦（レター）	
	i150 スキャナ	i160 スキャナ	i150 スキャナ	i160 スキャナ
150dpi	53ppm	53ppm（106ipm）	41ppm	41ppm（82ipm）
200dpi	40ppm	40ppm（80ipm）	31ppm	31ppm（62ipm）
300dpi	27ppm	27ppm（54ipm）	21ppm	21ppm（42ipm）

イメージ品質機能

- iThresholding、ATP（アダプティブスレッショルドプロセッシング）、イメージ圧縮、ノイズフィルタ、および白黒スキャン用のディザ
- 光学解像度：300dpi
- 出力解像度：白黒、グレースケール、カラー：75/100/150/200/240/300/400/600dpi

注記： 400dpi および 600dpi におけるスループット速度は PC によって異なります。

- 良好なカラーバランスを保つためのオートカラーバランス（オートホワイトバランス）補正
- 最高のカラーイメージ品質を実現するピクセルおよびカラー補正
- 数多くのイメージビューアでの表示を可能にする 5 レベルの JPEG 圧縮
- オートクロップおよび傾き修正の白バックグラウンドアクセサリオプション（片面のみ）

メンテナンス

- 簡単に交換できるフィードモジュールとセパレータモジュール
- １つの手順で簡単に紙詰まりを解消
- 電源、レディ、エラー、および操作状態を示す LED インジケータ

原稿のスキャン準備

- スキャナに給紙する原稿の束は、オートドキュメントフィーダの下に先端を揃えて中央に配置する必要があります。これにより、原稿をフィーダで 1 枚ずつスキャナに搬送することができます。原稿はスキャンする側を**下向きに**配置する必要があります。
- 原稿がホッチキスやクリップで留められていると、スキャナに損傷を与える場合があります。ホッチキスやクリップは、スキャンする前にすべて取り除いてください。
- 破れたりしわになっているページがある原稿でも、このスキャナでは問題なくスキャンすることができます。ただし、原稿の破損状態によっては例外もあります。破損した原稿をスキャナに搬送できるかどうか不確かな場合は、原稿を保護用クリアシートに入れます。シートは 1 枚ずつ手動で給紙する必要があります。**ギャップリリースレバーを持ち上げながら、端が閉じている方から給紙してください。**
- 保護用クリアシートに入った原稿をスキャンするときは、入力トレイのガイドをシートの幅に合わせて調節する必要があります。

注記： コダックのスキャナは、最も一般的な業務で使われるさまざまな原稿の種類でテストされています。推奨する原稿の仕様範囲内で原稿をスキャンすると、スキャナの最適なパフォーマンスを得られます。これらの仕様範囲外で原稿をスキャンした場合、スキャナの信頼性、イメージ品質、寿命において好ましくない結果を招くことがあります。

推奨される原稿

次の表は、推奨される原稿の属性をまとめたものです。

素材	• 未使用紙および再生紙 • 印画紙 • この項で記載されたサイズおよび厚さの要件を満たす保護用クリアシート
用紙の種類	• ボンド • レーザー • インクジェット • オフセット
用紙重量	ドキュメントフィーダは、50 ～ 200g（9 ～ 110 ポンド）の幅広い用紙重量に対応しています。
原稿の最小サイズ（幅 x 長さ）	8.9x6.4cm（3.5x2.5 インチ）
原稿の最大サイズ（幅 x 長さ）	29.7x43.2cm（11.7x17 インチ）
用紙上のインク	**注記：** スキャンを開始する前に、用紙上のすべてのインクが乾いていることを確認してください。 • 標準オフセット印刷用 • インクジェットプリンタ用 • 熱転写用 • 手書き用インク
修正液	**注記：** スキャンを開始する前に、用紙上のすべての修正液が乾いていることを確認してください。 • Liquid Paper® • Tipp-Ex® • Wite-out® • その他の類似する修正液
原稿をまとめて自動給紙する場合の高さ	原稿をまとめて給紙する場合の最大の高さは 10.2mm（0.4 インチ）、または 60g（16 ポンド）の用紙で約 150 枚です。

安全性に関する情報

- スキャナを配置する際は、電源コンセントがスキャナの 1.52m（5 フィート）以内にあり、簡単にコンセントに接続できることを確認してください。

注意：スキャナと電源アダプタは、室内の湿気のない場所でのみ使用してください。

- コダック製品に使用されている化学物質の情報、製品安全データシート（MSDS）はコダックのウェブサイト **www.kodak.com/go/MSDS** から入手できます。カタログナンバーについては、付録 B の「消耗品およびアクセサリ」を参照してください。

警告ラベル

注意：可動部品。接触を避けること。

注意：高温度。接触を避けること。

警告：スキャナの操作中は、スキャナのフロントパネルが定位置で閉じた状態になっている必要があります。

ユーザへの注意事項

ユーザやその管理者は、機械を操作するにあたり、常識的な注意を払う必要があります。注意事項には、たとえば次の内容が含まれます。

- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンを外さないようにしてください。
- 外れやすい装身具、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
- 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
- 機械の周辺にある、吸い込まれそうな小さな物はすべて取り除きます。
- 時折十分な休憩を取って、集中力を保つようにします。
- 推奨されるスキャナのクリーニング手順に従います。エアー、液体または気体のスプレークリーナは使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナ内の別の場所に移動するだけで、スキャナの故障の原因となる可能性があります。

業務監督者は、*コダック* i100 シリーズスキャナおよびその他の機械オペレータが従うルールに、上記のような予防措置を含めるようお願いします。

安全性および規制に関する機関の承認

コダック i100 シリーズスキャナは、国内および海外で定められている製品の安全性および電子放出規制要件に適合しています。準拠する法的な要求事項は以下のとおりです（ただし、この限りではありません）。

コダック* i100 シリーズスキャナの規制に関する機関の承認				
国または地域	**安全性承認**	**安全規格マーク**	**電磁規制**	**EMC マーク**
オーストラリア			AS/NZS CISPR22 クラス B	C-Tick
カナダ	CAN/CSA-C22.2 No. 60950-00	C - UL	カナダ ICES - 003 発行 3 クラス B	
中華人民共和国	GB4943	CCC "S&E"	GB 9254 クラス B GB 17625.1 ハーモニックス	CCC "S&E"
ヨーロッパ連合		CE	EN 55022 ITE エミッション規格 クラス B EN 61000-3-2 電源高調波 EN 61000-3-3 フリッカ EN 55024 ITE イミュニティ	CE
ドイツ	EN 60950	TUV GS		
国際規格	IEC 60950		CISPR 22 クラス B	
日本			VCCI（装置等電波障害自主規制協議会）クラス B	VCCI
台湾			CNS 13438 クラス B	BSMI
米国	UL 60950	UL	CFR 47 パート 15、サブパート B FCC クラス B	

環境に関する情報

- *コダック* i100 シリーズスキャナは、環境に対する世界中の要件に対応できるよう設計されています。
- i100 シリーズスキャナの電源アダプタコードジャケットと電子回路のはんだ部分に鉛が含まれています。鉛の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルに関する情報については、地方公共団体、または米国では、Electronics Industry Alliance（EIA 米国電子工業会）www.eiae.org にお問い合わせください。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規制に従うか最寄のコダック代理店にお問い合わせください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- 部品は再利用またはリサイクルを行うように設計されています。
- i100 シリーズスキャナは、エネルギースターに準拠しています。

騒音

Machine Noise Information Ordinance — 3, GSGV
操作者位置の騒音は 70 dB（A）以下。

電源システム

本製品は、IT 系統に合わせて設計されています。

EMC 声明

米国

コダックi150/i160スキャナ

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル製品の制限に準拠していることが証明されています。基準の範囲で、家庭での使用時に有害な電波妨害に対して保護機能を備えるように設計されています。この装置は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置およびご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、特定の設置方法をすれば障害が起こらない、という保証はありません。この装置により有害な電波障害またはテレビの受信障害が起きた場合（装置の電源を入れたり切ったりすることで判断できます）、以下の方法を試して妨害を避けてください。

- 受信アンテナの方向を変える、または場所を移動する。
- 電波の受信に問題がある機器をこの装置から遠ざける。
- この装置を、問題の機器が接続している回線とは異なるコンセントに接続する。
- 取扱店または信頼できるラジオ／テレビ関係の技術者に問い合わせる。

日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

スキャナの接続

設置場所について

スキャナは以下のような場所に設置してください。

- 通常のオフィス環境で、温度と相対湿度が保たれた清潔な場所

注意： スキャナと電源アダプタは、室内の湿気のない場所でのみ使用してください。

- 次の重量を支えることのできる安定した平らな表面
  - i150 スキャナ：10.80kg（23.75 ポンド）
  - i160 スキャナ：12.61kg（27 ポンド）
- 電源コンセントから 1.52m（5 フィート）以内の場所

注記： スキャナの仕様の詳細については、付録 A の *「仕様」* を参照してください。

システム要件

最小システム構成

スキャナを使用する場合、次の最小構成が必要です。

注記： システムの実際の性能は、スキャンアプリケーション、スキャンパラメータの選択、およびホストコンピュータの設定によって異なります。スキャナが最適な速度で動作していない場合は、定格のスループットを得るために、より高速なコンピュータを使用したり、RAM を増設しなければならない場合があります。

- Pentium III 1GHz 以上のプロセッサを搭載した IBM PC（または互換機）
  - i160 スキャナ：300dpi で自動傾き修正付きのスキャンを行う場合、白黒スキャンでは 1.8GHz 以上、カラースキャンでは 2.5GHz 以上のプロセッサを使用する必要があります。
- Microsoft Windows 98SE、Windows Millennium Edition（Me）、Windows 2000 Professional、または Windows XP
- 100MB 以上のハードディスク空き容量（200MB を推奨）
- 128MB の RAM
- モニタ（VGA）
- マウス

推奨システム構成

最適な状態で使用するためには、次の構成（または、これ以上）をお勧めします。

注記： システムの実際の性能は、スキャンアプリケーション、スキャンパラメータの選択、およびホストコンピュータの設定によって異なります。

- Pentium IV 2.5GHz 以上のプロセッサを搭載した IBM PC（または互換機）
- Microsoft Windows 98SE、Windows Millennium Edition（Me）、Windows 2000 Professional、または Windows XP
- 200MB 以上のハードディスク空き容量
- 512MB の RAM
- モニタ（VGA）
- マウス

スキャナの開梱

スキャナの梱包箱には次の品目が含まれています。

- *コダック* i100 シリーズスキャナ
- 入力トレイ
- 出力トレイ
- 電源アダプタ
- 電源コード
- インストール CD
- *コダック* キャプチャソフトウェア（*ライト版*）CD
- 「はじめにお読みください」シート
- ユーザーズガイド（英語の印刷版。インストール CD には 9ヶ国語に翻訳されたユーザーズガイドの .pdf ファイルが含まれています）
- ユーザ登録シート
- IEEE FireWire キット

注記： 梱包材料は、将来の入用時に備えてすべて保管しておいてください。

スキャナのユーザ登録

スキャナを継続して使用する上でコダックから最善のサービスとサポートを受けるには、スキャナのユーザ登録を行ってください。スキャナのユーザ登録をすると、ファームウェアおよびハードウェアが更新されたときに、それらを入手できるようになります。

注記： サービスサポートを受けるには、スキャナのユーザ登録をする必要があります。

新規スキャナの機器保証登録は、**www.kodak.com/go/DIwarrantyregistration** で行うことができます。

コダックのサービスおよびサポートに関する詳細については、最寄りのコダック Document Imaging 製品代理店または **www.kodak.com/go/DIserviceandsupport** をご覧ください。

梱包シートの取り外し

スキャナの内部には、輸送中にローラを保護するための梱包用シートが含まれています。この梱包用シートはスキャンを開始する前に取り除く必要があります。

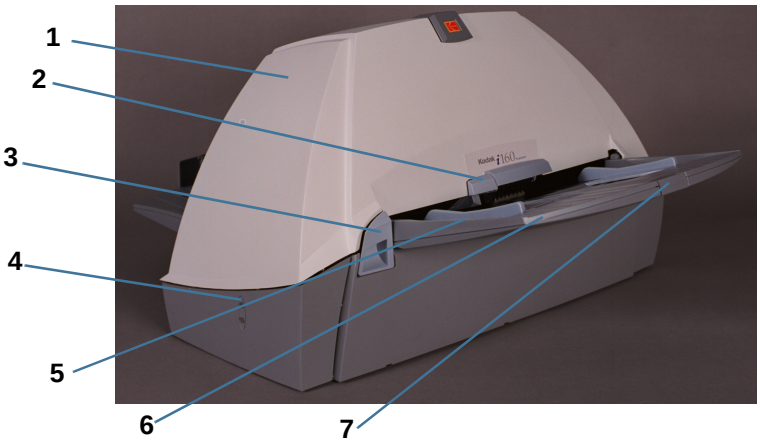
1. スキャナを箱から取り出し、スキャナを支えることのできる安定した平らな場所に置きます。
2. スキャナドアリリースを持ち上げ、スキャナドアのラッチを解除して開きます。
3. 梱包用シートを取り除きます。

4. スキャナドアを下げて、ラッチがかかるまでしっかりと下に押します。

スキャナのコンポーネント

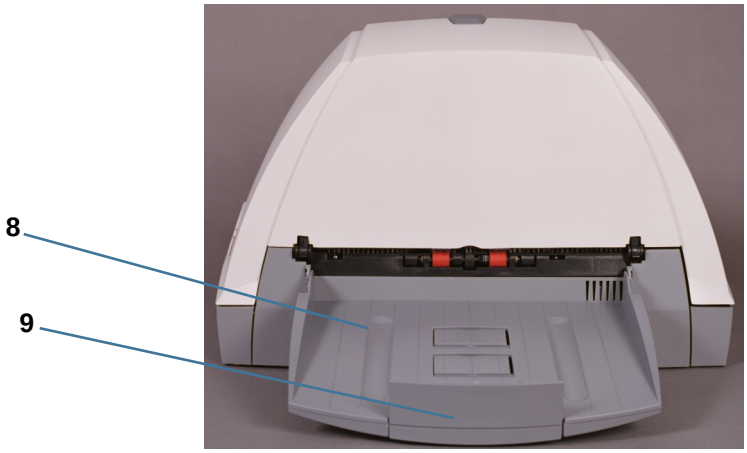
前部

1 スキャナドア
2 ギャップリリースレバー
3 スキャナドアリリース
4 LED
5 用紙ガイド
6 入力トレイ
7 延長入力トレイ



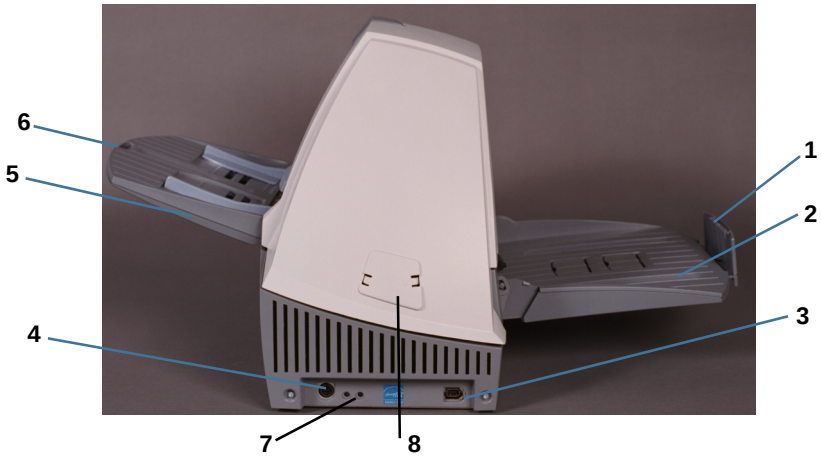
後部

8 出力トレイ
9 延長出力トレイ



側部

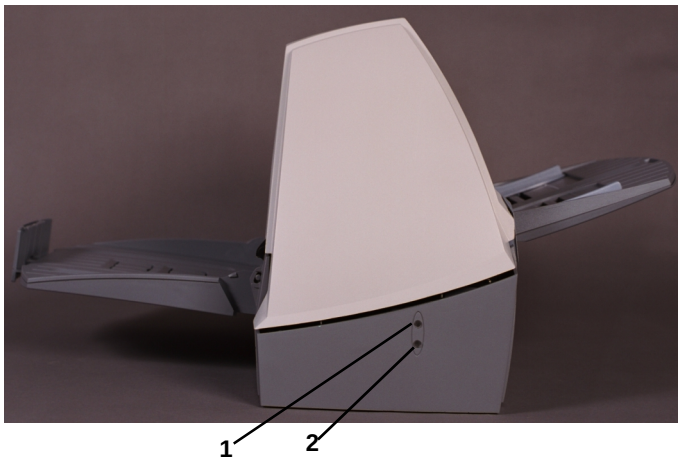
1 延長出力トレイ
2 出力トレイ
3 FireWire（IEEE-1394）ポート
4 電源入力
5 入力トレイ
6 延長入力トレイ
7 サービス LED
8 上部イメージングガイドアクセスドア（i160 スキャナのみ）



側部

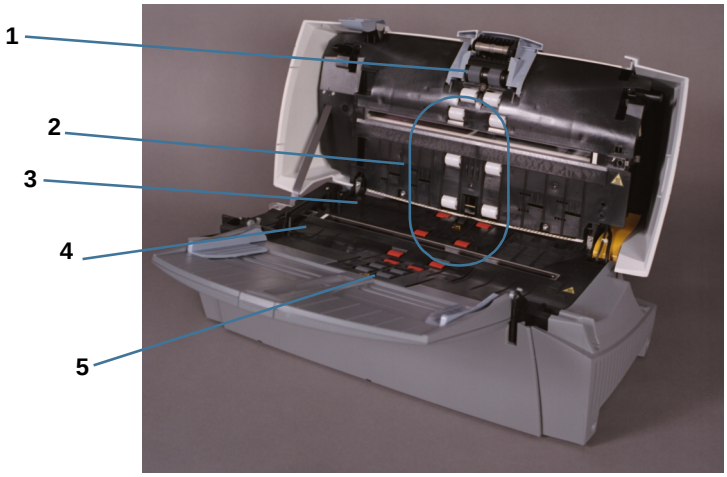
1 赤のインジケータ
2 緑のインジケータ

インジケータに関する詳細については、*「トラブルシューティング」*の項の「インジケータライト」を参照してください。



内部

1 セパレータモジュール
2 ノーマルフォースローラ
3 リアドライブローラカバー
4 フロントドライブローラカバー
5 フィードモジュール



接続設定

スキャナをホストコンピュータに接続する前に、IEEE-1394（FireWire）カードおよびコダックドライバソフトウェアのインストール手順に従ってください。

重要： スキャナを接続する前に、ホストコンピュータにこのソフトウェアをインストールする必要があります。

IEEE-1394（FireWire）カードのホストコンピュータへのインストール

IEEE-1394 6 ピンコネクタは、IEEE-1394（FireWire）接続用としてスキャナのリアパネルにあります。

1. カードに添付された指示に従って、IEEE-1394（Fire Wire）カードをホストコンピュータにインストールしてください。

警告： コネクタを誤った向きで接続すると、スキャナおよびIEEE-1394 FireWireカードに損傷を与える場合があります。

重要： IEEE-1394（FireWire）カードをコンピュータにインストールする際は、静電気を防ぐ適切な処置を行ってください。

2. IEEE-1394（FireWire）カードのインストールが完了したら、ホストコンピュータの電源を入れます。

コダックドライバソフトウェアのインストール

1. コダック i100 シリーズインストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

   インストールプログラムが自動的に起動します。

2. 画面上の指示に従って、TWAIN ドライバ、ISIS ドライバ、およびコダック Scan Validation Tool をインストールします。

IEEE-1394（FireWire）ケーブルの取り付け

1. IEEE-1394（FireWire）ケーブルの端を図のようにスキャナ後部の IEEE-1394 ポートに接続します。

2. IEEE-1394（FireWire）ケーブルのもう一方の端をホストコンピュータに接続します。

警告： 必ず、IEEE-1394（FireWire）ケーブルの端のコネクタをIEEE-1394 ポートの形状に合った向きで取り付けてください。誤った向きで取り付けると、スキャナに損傷を与える場合があります。

重要： ホストコンピュータにIEEE-1394（Fire Wire）カードで接続されている機器は、i100 シリーズスキャナのみであることを確認してください。

電源のセットアップ

スキャナには 1 本または数本の電源コードが付属しています。ご使用の電源のタイプに必要なコードのみを使用してください。不要な電源コードは適切に処分してください。

スキャナに付属していた電源アダプタのみを使用してください。

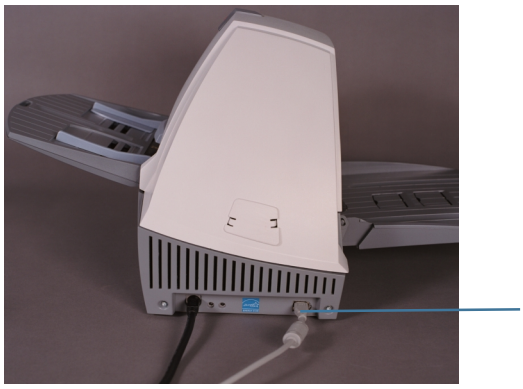
注意： スキャナと電源アダプタは、必ず室内の湿気のない場所でのみ使用してください。

重要： これ以外の電源アダプタモデルや他社製の電源アダプタを代用しないでください。

1. 電源スイッチの "O" というラベルの付いた側を押して電源がオフになっていることを確認します。

注記： 電源スイッチは電源アダプタ上にあります。

2. ご使用の電源のタイプに適合した電源コードを電源アダプタに接続します。
3. 電源アダプタをスキャナ後部の電源入力に接続します。



4. 電源コードを電源コンセントに接続します。

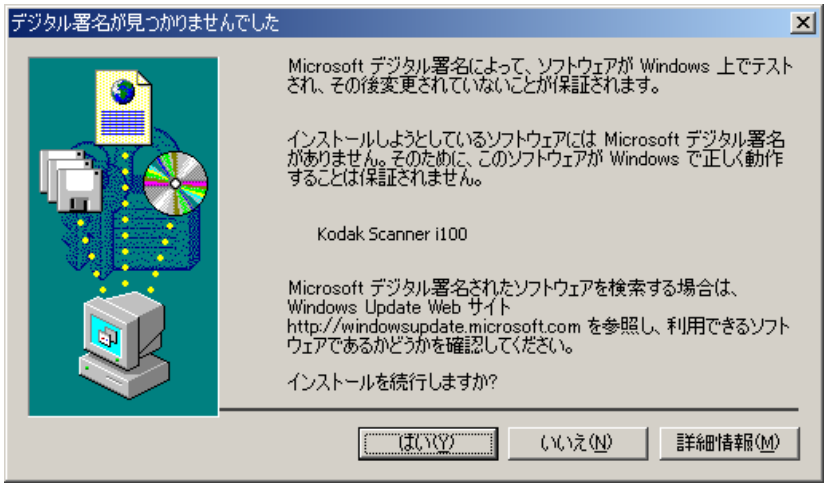
注記： 電源コンセントがスキャナの 1.52m（5 フィート）以内にあり、簡単にコンセントに接続できることを確認してください。

5. 電源スイッチの "I" というラベルの付いた側を押してスキャナの電源を入れます。

   スキャナに電源を入れると、赤と緑のインジケータライトが点灯します。約 1 分後、両方のライトが消えます。緑のインジケータライトが再び点灯すると、スキャナが接続され、スキャンの準備が完了したことになります。ただし、ホストコンピュータがスキャナを検出するまで、もう 2 ～ 3 分かかる場合があります。

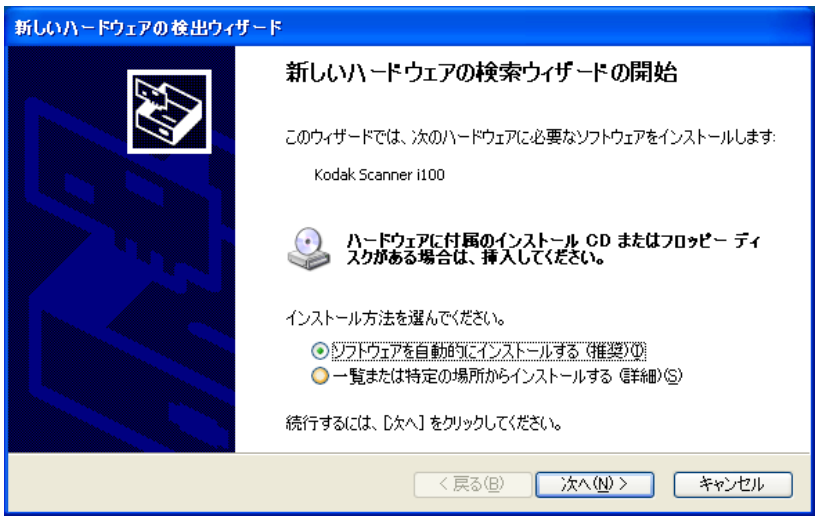
   最良のキャリブレーション状態とスキャン結果を得るためには、スキャナの光源ランプが温まるまで少なくとも 3 分間必要です。

Windows 2000 を実行しているコンピュータにスキャナを接続する場合は、次の画面が表示されます。

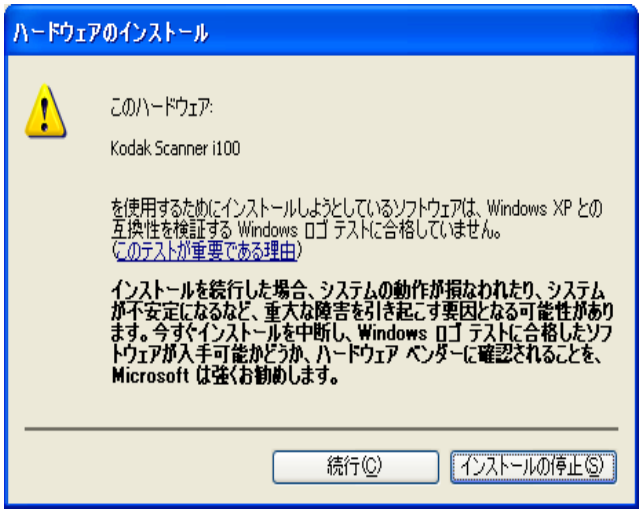


- ［**はい**］を選択します。コダックでは、Windows 2000 での i100 シリーズスキャナの動作は確認済みです。これでスキャナが接続されました。

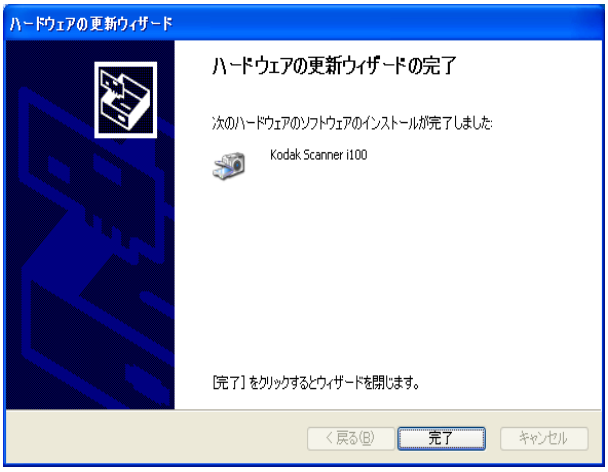
Windows XP を実行しているコンピュータにスキャナを接続する場合は、次の画面が表示されます。



1. ［**次へ**］を選択します。次の画面が表示されます。



2. ［**続行**］を選択します。コダックでは、Windows XP での i100 シリーズスキャナの動作は確認済みです。次の画面が表示されます。



3. ［**完了**］を選択します。これでスキャナが接続されました。

入力トレイと出力トレイ

入力トレイと出力トレイは定位置にカチッと収まるようになっています。また、さまざまな原稿サイズに合わせて調節できるようになっています。スキャナを使用していないときには、入力トレイと出力トレイをスキャナの側面に沿って畳んで、スペースを節約することもできます。

入力トレイの接続

1. スキャナの入力トレイスロット（大きい穴）の位置を確認します。
2. 入力トレイピンとスロットを合わせます。
3. 入力トレイをカチッと音がして定位置に収まるまで押します。

注記： スキャナドアを開くとスロットの位置を確認しやすくなり、トレイを定位置に取り付けることができます。

出力トレイの接続

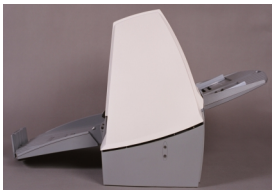
1. スキャナにある出力トレイスロットの位置を確認します。
2. 出力トレイピンとスロットを合わせます。
3. 出力トレイをカチッと音がして定位置に収まるまで押します。

延長トレイとサイドガイド

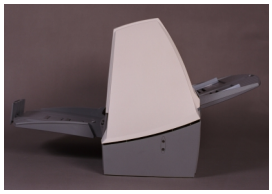
- 入力トレイと出力トレイには、長尺原稿に対応するための延長トレイが付いています。延長トレイをつかんで目的の位置に引き出してください。
- 出力トレイには 3 つの原稿押さえがあり、スキャンされた小さい原稿を収集できるように位置を高くすることができます。
- 入力トレイにはサイドガイドが付いています。このガイドを動かして、フィーダを原稿のサイズに合わせて調節します。サイドガイドをつかんで目的の位置にスライドさせます。

出力トレイの調節

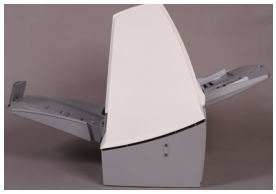
出力トレイは調節可能で 、3 つの位置が用意されています。



長尺原稿用の最も低い位置



レターまたは A4 サイズ原稿用の中間位置



小切手用の最も高い位置

- 長尺原稿をスキャンするときは、出力トレイを最も低い位置にセットします。
- レターまたは A4 サイズの原稿をスキャンするときは、出力トレイを中間の位置にセットします。
- 小切手をスキャンするときは、出力トレイを最も高い位置にセットし、最初の原稿押さえを起こします。
- 長さが 14cm（5.5 インチ）の原稿をスキャンするときは、最も高い位置で 2 番目の原稿押さえを使用します。

1. トレイの両側をつかみます。
2. トレイを持ち上げて、目的の位置まで上下に移動します。

入力トレイと出力トレイの収納

スキャナを使用しないときは、スキャナのトレイを移動することができます。

1. 入力トレイをつかみます。
2. 入力トレイがスキャナの前面にぴったり付くまでトレイを持ち上げます。
3. 出力トレイをつかみます。
4. 出力トレイがスキャナの背面にぴったり付くまでトレイを持ち上げます。

スキャナの使用方法

スキャンの開始および停止

スキャンはアプリケーション用に開発されたソフトウェアによって制御されます。スキャンの開始および停止の手順については、ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

自動給紙

原稿の束をスキャンするには、「*はじめに*」の項で説明されたサイズ、種類、量などの指針に従ってください。より高速に処理するには、オートドキュメントフィーダ（ADF）に原稿を横長（辺の長い方を前）に置いて給紙します。

重要： *原稿がホッチキスやクリップで留められていると、スキャナに損傷を与える場合があります。ホッチキスやクリップは、スキャンする前にすべて取り除いてください。*

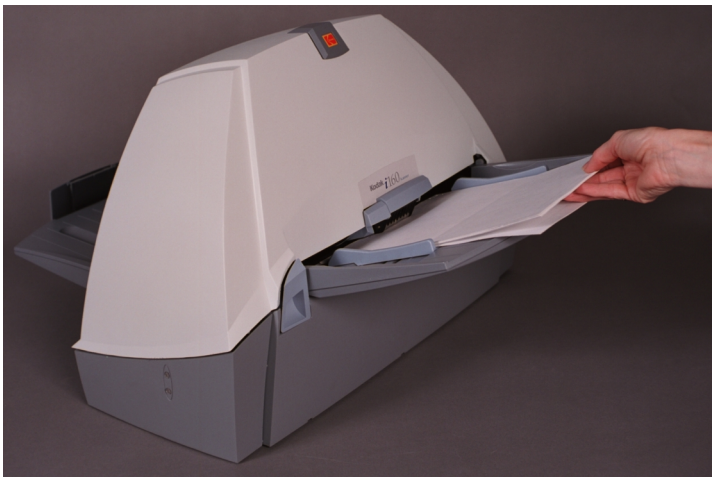
1. 束ねた原稿の先端をそろえます。
2. 原稿の先端を揃え、**下向き**にして ADF の中央に置きます。

3. ドキュメントフィーダガイドを調節します。
4. 必要に応じて、出力トレイの位置を調整します。
5. 必要に応じて、延長出力トレイを引き出します。
6. スキャンを開始します。

連続給紙

連続給紙では、追加原稿の束をフィーダに配置して、「無限に」給紙することができます（オペレータの補助が必要）。

- フィーダに残っている原稿が数枚になったら、この上に次の束を**下向き**に配置します。



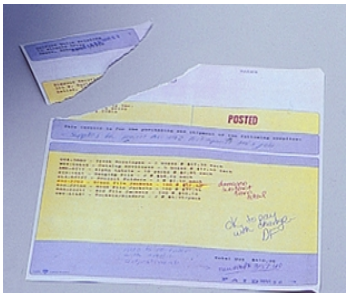
手動給紙

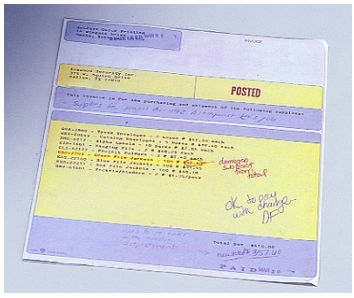
「*はじめに*」の項で説明された原稿のサイズ、種類、重さ、量などの指針に従ってください。原稿の先端を揃え、**下向き**にして ADF の中央に置き、スキャンを開始します。

破損した原稿

破損した原稿や破損しやすい原稿は、保護用クリアシートに入れ、オートドキュメントフィーダを使用してスキャンすることができます。

1. 破損した原稿を保護用クリアシートに入れます。





2. クリアシートを**下向き**に、端が閉じている方を先頭にして、ADF の中央に配置します。

3. 必要に応じて、ギャップリリースレバーを持ち上げます（これにより、さらに隙間の空間が広がって原稿を給紙しやすくなります）。

4. スキャンを開始します。

スキャナのクリーニング

日常的にスキャンするうちに、スキャナにはほこりやゴミが付着します。スキャナの性能を最適に保つには、この項で説明するクリーニング手順に従って、フィードモジュールローラ、セパレータモジュールローラ、イメージングガイド、搬送部、搬送路などを少なくとも週に 1 度クリーニングしてください。ノンカーボン紙や新聞紙をスキャンしている場合は、スキャナと搬送路を毎日クリーニングしてください。

次のクリーニング用品のみ使用するようにしてください。

品目	CAT No.
ローラクリーニングパッド（24 枚）	853 5981
静電クリーニングクロス（144 枚）	896 5519
トランスポートクリーニングシート（50 枚）	169 0783

重要： *静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌のかさつきの原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、製品安全データシート（MSDS）を参照してください。MSDS は、コダックのウェブサイト* ***www.kodak.com/go/MSDS*** *から入手できます。*

ローラクリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウム、およびケイ酸ナトリウムが含まれています。詳細については、MSDS（製品安全データシート）を参照してください。

スキャナを使用する前にすべてのローラを完全に乾燥させてください。

コダックパーツサービスから購入したクリーナなど、不燃性のクリーナのみを使用してください。

換気の悪い場所でクリーナを使用しないでください。十分に換気を行ってください。

表面が熱くなっている場合はクリーナを使用しないでください。表面の温度が常温に下がってからクリーナを使用してください。

注記： 他のクリーニング製品を使用すると、スキャナに損傷を与える場合があります。

特に指示がない限り、新しいクリーニング用品を使用してください。

推奨されるクリーニング用品のほかに、掃除機を使用してスキャナのゴミを取り除くこともできます。

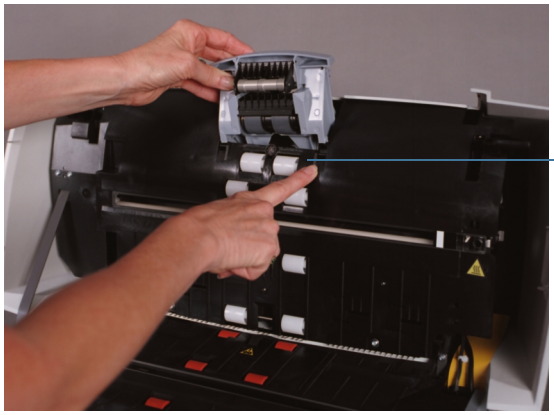
フィードモジュールおよびセパレータモジュールのゴムタイヤに付着するゴミは問題ありません。タイヤのゴミは、必ずしも磨耗や損傷を意味するものではありません。クリーニング後、タイヤを点検し、必要に応じてセパレータモジュールまたはフィードモジュールを交換してください。

クリーニング用品を注文するには、付録 B の「*消耗品およびアクセサリ*」を参照してください。

セパレータモジュールのクリーニング

1. スキャナの電源を切ります。
2. フィーダから原稿を取り除きます。
3. スキャナドアリリースを持ち上げて、スキャナドアのラッチを解除します。
4. スキャナドアを持ち上げて開きます。

5. セパレータモジュールを引き下げてから持ち上げて取り外します。



6. セパレータモジュールローラを回転させて、ローラクリーニングパッドで拭いてください。

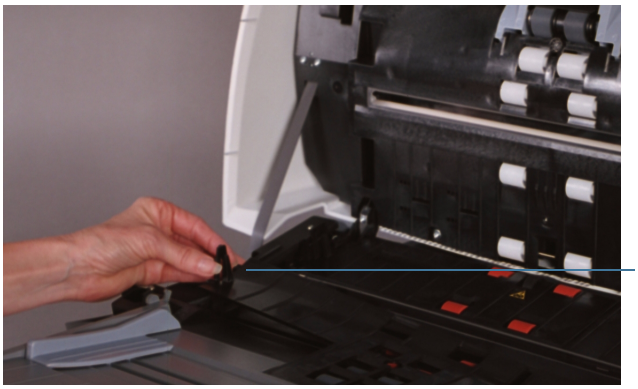
7. ローラを点検します。

   セパレータローラタイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、タイヤまたはセパレータモジュールを交換します。

8. セパレータモジュールを挿入し、軸の端を揃えます。
9. カチッと音がして定位置に収まるまでセパレータモジュールを押し込みます。
10. 次の項に進んでフィードモジュールをクリーニングします。

フィードモジュールのクリーニング

1. フロントドライブローラカバーの左側にある、突き出ている端を横に押し、カバーを引き上げて取り外します。



注記： フロントローラ カバーを取り外す際に、入力トレイを少し持ち上げなければならない場合があります。

2. フィードモジュールを右に押してから持ち上げて取り外します。

3. フィードモジュールローラを回転させて、ローラクリーニングパッドで拭いてください。

4. フィードモジュールを点検します。

   フィードモジュールタイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、タイヤまたはフィードモジュールを交換します。

5. フィードモジュールの下にあるトレイとフロントローラカバーからほこりやゴミを取り除きます。
6. フィードモジュールのピンを合わせ、モジュールを右方向に押して定位置に収めます。
7. フロントドライブローラカバーを再び取り付けます。
8. 次の項に進んでドライブローラと搬送部をクリーニングします。

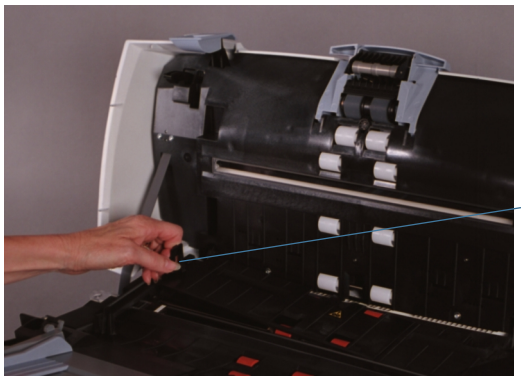
ドライブローラおよび搬送部のクリーニング

1. ドライブローラを回転させて、ローラクリーニングパッドで拭いてください。

2. ドライブローラ周囲にあるスロット内のほこりやゴミを取り除きます。

3. ローラクリーニングパッドで上下の搬送部を拭き取ります。

4. 乾いた静電クリーニングクロスで搬送部を乾かします。
5. リアローラカバーの左側にある突き出ている端を押し、カバーを引き上げて取り外します。



6. リアドライブローラカバーの下のほこりやゴミを取り除きます。
7. リアドライブローラカバーを再び取り付けます。
8. 次の項に進んでイメージングガイドをクリーニングします。

イメージングガイドのクリーニング

イメージングガイドの見えている面（上側）をクリーニングします。イメージングガイドの裏面にほこりや汚れがない限り、クリーニングのためにイメージングガイドを取り外す必要はありません。イメージングガイドを取り外す場合は、「i100 シリーズスキャナ用 *コダック* イメージングガイドセットの取り付け」の手順に従ってください。

1. 上部イメージングガイドおよび下部イメージングガイドを静電クリーニングクロスで拭きます。

2. 乾いた静電クリーニングクロスでイメージングガイドを乾かします。
3. スキャナドアを下げて、ラッチがかかるまでしっかりと押し込みます。
4. 次の項に進んで搬送路をクリーニングします。

搬送路のクリーニング

1. トランスポートクリーニングシートの包装を外します。
2. クリーニングシートに合わせてドキュメントフィーダを調節します。
3. ドライブローラに付着したゴミがすべて無くなるまでクリーニングシート（粘着面を上にする）を縦長方向にしてスキャナ搬送部に給紙します。
4. フィーダガイドを適切に調整し、ドライブローラに付着したゴミがすべて無くなるまでクリーニングシート（粘着面を上にする）を横長方向にしてスキャナ搬送部に給紙します。
5. 同じクリーニングシートを使用して手順 3 と 4 を繰り返します。クリーニングシートの粘着面を下にして、ドライブローラに付着したゴミがすべて無くなるまで給紙します。

注記： クリーニングシートが汚れてきたら、汚れたシートは捨てて新しいものに取り替えてください。

部品の交換

消耗品（フィードモジュール、セパレータモジュール、プリセパレーションパッド、ローラタイヤ、イメージングガイド）および取り付け手順書は次のキットで提供されています。

品目	CAT No.
フィーダ交換キット i100 用（フィードモジュール 1 個、セパレータモジュール 1 個、プリセパレーションパッド 2 個、ローラタイヤ 24 個）	124 1066
フィーダ交換キット i100 用ラージパック（フィードモジュール 5 個、セパレータモジュール 5 個、プリセパレーションパッド 10 個、ローラタイヤ 120 個）	821 5808
イメージングガイドセット（上部ガイド 1 個、下部ガイド 1 個）	120 0278
キャリブレーションシート（12 x 12 インチ）	127 1436
白バックグラウンドアクセサリ	829 3599

これらの交換部品以外は使用しないでください。

ユーザが交換できる部品の寿命は以下に示すとおりです。

- セパレータモジュール i110 用
  20 万枚
- フィードモジュール i100 用
  50 万枚
- イメージングガイド i100 用
  イメージングガイドは傷が付いたら交換してください

注記： ローラは極めて信頼性が高い素材を使用しており、最も幅広い種類、サイズ、厚さの原稿を給紙いたします。寿命は、この項で説明されている推奨されるスキャナのクリーニング手順に従って、推奨される用紙タイプ（「*はじめに*」の項の「ドキュメントのスキャン準備」を参照してください）の範囲内で原稿をスキャンした場合の指針として示されています。

寿命はスキャナの使用状況によって異なります。特定の用紙の種類（ノンカーボン用紙や新聞紙）を使用した場合、クリーニングを定期的に行わなかった場合、推奨品以外のクリーニング液を使用した場合などは、ローラの寿命が短くなることがあります。

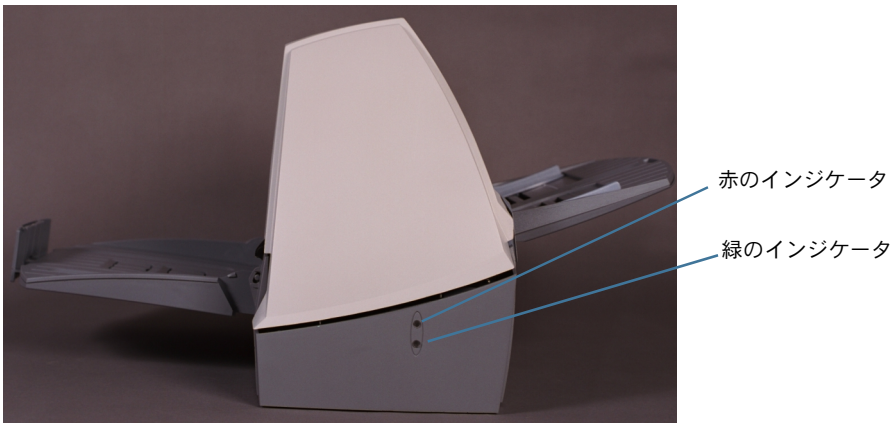
交換部品を注文するには、付録 B の「*消耗品およびアクセサリ*」を参照してください。

スキャナのキャリブレーション

キャリブレーションを行うと、スキャナの光学システムを最適化し、スキャンイメージ全体の最高品質を実現します。このキャリブレーションを頻繁に行う必要はありません。また、お勧めしません。キャリブレーション手順は、「Image Processing Guide for *Kodak* i100 Series Scanners」を参照してください。このガイド（PDF ファイル）は、インストール CD に収録されています。

インジケータライト

スキャナには 2 つのインジケータライト（赤と緑）があり、スキャナの状態を表示します。



緑の点灯 — スキャナはレディ状態で、スキャン可能

緑の点滅 — スキャナはビジー状態

赤の点灯 — スキャナはエラー状態（一般的なエラーについては、この項の「問題の解決」を参照してください。）

赤と緑の点灯 — スキャナ起動中

スキャナに電源を入れると、赤と緑のインジケータライトが点灯します。約 1 分後、両方のライトが消えます。緑のインジケータライトが再び点灯すると、スキャナはレディ状態で、スキャン可能になります。ただし、ホストコンピュータがスキャナを検出するまで、もう 2 ～ 3 分かかる場合があります。

サービスインジケータライト

スキャナの電源を入れると両方の LED が点灯します。

赤 — CPU でコードが実行されていません。赤のインジケータは約 30 秒後に消えます。このインジケータは、ファームウェアのダウンロードまたはスキャナのキャリブレーション実行中以外は常にオフの状態です。

緑 — 緑のインジケータは常にオンの状態です。

ランプ

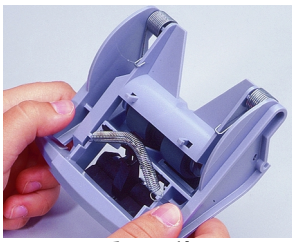
スキャナには、ランプの寿命を延長するためのランプセーバー機能があります。ランプはスキャナがアイドル状態になってから 5 分後に消灯します。

紙詰まりの取り除き方

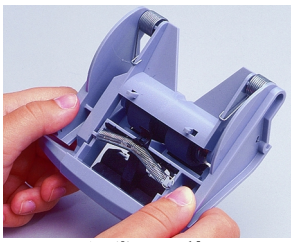
1. フィーダから原稿を取り除きます。
2. スキャナドアリリースを持ち上げて、スキャナドアのラッチを解除します。
3. スキャナドアを持ち上げて開きます。
4. 紙詰まりしている原稿を探して取り除きます。
5. スキャナドアを下げて、ラッチがかかるまでしっかりと押し込みます。

セパレータモジュールの張力の調節

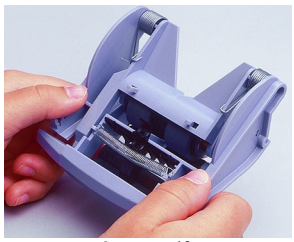
ほとんどの原稿はデフォルトのセパレータモジュール張力で全く問題ありません。ただし、スキャンする原稿が軽い場合や重い場合があります。セパレータモジュールのバネにはほかに 2 つの位置があるため、張力を調節してこのような原稿のスキャンを改善することができます。バネは 2 つのチャネルのいずれかに設定するか、解除して平面上に置いたままにすることができます。



重い原稿



通常の原稿（デフォルト位置）



軽い原稿

1. スキャナの電源を切ります。
2. フィーダから原稿を取り除きます。
3. スキャナドアリリースを持ち上げて、スキャナドアのラッチを解除します。
4. スキャナドアを持ち上げて開きます。
5. セパレータモジュールを引き下げてから持ち上げて取り外します。
6. バネを目的の位置までゆっくり引きます。

7. セパレータモジュールを挿入し、軸の端を揃えます。
8. カチッと音がして定位置に収まるまでセパレータモジュールを押し込みます。
9. スキャナドアを下げて、ラッチがかかるまでしっかりと押し込みます。

システムが応答しない場合

スキャナまたはホストコンピュータ、あるいはその両方が応答しない場合は、次の手順を実行してください。

1. コンピュータの電源を切ります。
2. スキャナの電源を切ります。
3. IEEE-1394（FireWire）ケーブルをスキャナ後部の IEEE-1394 ポートから外します。
4. コンピュータの電源を入れます。
5. スキャナの電源を入れます。

   スキャナに電源を入れると、赤と緑のインジケータライトが点灯します。約 1 分後、両方のライトが消えます。緑のインジケータライトが再び点灯すると、スキャンの準備が完了したことになります。ただし、ホストコンピュータがスキャナを検出するまで、もう 2 ～ 3 分かかる場合があります。
6. スキャナのライトが緑になり、起動モードが終了するまで待ちます。
7. IEEE-1394（FireWire）ケーブルをスキャナ後部の IEEE-1394 ポートに接続します。
8. ホストコンピュータのオペレーティングシステムがスキャナを認識するまで数分待ちます。

   これでスキャナの使用準備が完了しました。

カラーイメージ品質

カラーイメージ品質は非常に主観的です。カラースキャンをする場合に考慮する事項があります。

- スキャナ、プリンタ、およびモニタのカラー出力の差が、スキャンした原稿の認知に影響を与えることがあります。
- コンピュータのディスプレイとプリンタの出力は、モデル、およびメーカーによって異なります。1 台のディスプレイでは満足できるイメージでも、別のディスプレイでは容認できない場合があります。
- その場所の照明（蛍光灯、自然な光、白熱灯など）がカラーの認知に影響を与える場合があります。
- イメージ内のカラー領域の外観は、その周りにあるものによって異なって認知される場合があります。
- 原稿の特徴や状態が、カラーの一貫性に影響を与えることがあります。
- カラー要件は、環境によって異なる場合があります（つまり業務上のドキュメント環境では、イメージは通常モニタで表示されますが「プリント オン デマンド」の環境だと、スキャンしたイメージが印刷されます）。

スキャナが最高画質を生み出すためには次の手順に従ってください。

- スキャナをクリーニングします。スキャナの内部が汚れていると、イメージ品質が低下します（クリーニング情報については、*「メンテナンス」*の項を参照してください）。

問題の解決

スキャナの使用状況によっては、スキャナに問題が発生する場合があります。多くの場合、問題は自分で簡単に解決できます。奨励するメンテナンスを行うには、*「メンテナンス」* の項を参照してください。スキャンアプリケーションの確認が必要な場合もあります。

問題点	解決方法
スキャナが原稿をスキャンまたは給紙しない	以下を確認してください。 • 電源コードが接続され、電源がオンになっている。 • スキャナのアクセスドアがすべて完全に閉じている。 • 電源が正しく入っており、スキャナの緑のライトがオンである。ソフトウェアはスキャンを有効にしている。 • 原稿がフィードモジュールと接触している。 • 原稿束の高さが 10.2mm（0.4 インチ）または 60g（16 ポンド）のシートが 150 枚以内である。 • 原稿のサイズ、重さ、種類などが仕様に合っている。 • 厚い原稿の場合は、給紙中にギャップリリースボタンを持ち上げます。 • フィードモジュールおよびセパレータモジュールの消耗サインを確認して、必要に応じて交換してください。 スキャナの電源を切って再び投入してみるか、この項の「システムが応答しない場合」の指示に従うこともできます。
キャリブレーションに失敗した	以下を確認してください。 • ランプが少なくとも 3 分間点灯している。 • 適切なキャリブレーションシートを使用している。12 x 12 インチのキャリブレーションシートをご使用ください（CAT No. 127 1436）。 • 搬送部に障害物がない。
紙詰まりが発生する	以下を確認してください。 • 出力トレイおよびガイドが、スキャンする原稿の長さに合わせて調整されている。 • 詰まっている原稿すべてが搬送部から取り除かれた。 • 原稿のサイズ、重さ、種類などが仕様に合っている。 • ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。 • セパレータモジュールとフィードモジュールが汚れておらず、正しく取り付けられている。 • ドライブローラが汚れていない。 • イメージングガイドが汚れていない。
紙詰まりの誤検出が起きる	• 搬送部が汚れていないことを確認します。
35.6cm（14 インチ）以上の原稿が給紙されない、または詰まる	延長入力トレイおよび延長出力トレイが開いており、長尺原稿を支えていることを確認してください。

問題点	解決方法
イメージ品質が悪い、または低下する	以下を確認してください。 • スキャナが汚れていない。*「メンテナンス」*の項を参照してください。 • スキャナのキャリブレーションが行われている。*「メンテナンス」*の項を参照してください。
ランプの消える時期が早すぎる	i100 シリーズスキャナのランプは、スキャナが 5 分間使用されないと消灯します。もしランプが消灯しても、スキャナが省電力モードに入っていなければ（デフォルトは 15 分後）、再びランプがウォームアップするまで 5 秒の遅れが発生します。 省電力モードのデフォルト設定は 15 分です。設定が 16 分から 60 分の間で変更されない場合、ランプはスキャナが 5 分間使用されないと消灯します。 省電力タイムアウトを 15 分以上に変更した場合は、少なくとも 1 つの原稿をスキャンしないと設定は有効になりません。この設定が有効になると新しい設定に変わるか、電源が入るまで続きます。
原稿がスキャン中に傾いてしまう	以下を確認してください。 • 給紙に合わせて原稿のサイドガイドが調節されている。 • 原稿がフィードモジュールに対して垂直に給紙されている。 • 原稿が ADF の中央に給紙されている。 • ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。 • フィードモジュール、セパレータモジュール、およびドライブローラが汚れていない。
スキャナがスキャン中に長時間停止する	以下を確認してください。 • ホストコンピュータの性能がスキャンの最小要件を満たしている。 • ハードディスクドライブに十分な空き領域がある。 • 他のアプリケーションがすべて終了している。 • 原稿をスキャンするのに十分なメモリがスキャナにインストールされている。 スキャンソフトウェアのスキャンオプション（圧縮など）を変更してみることもできます。
原稿が重送される	以下を確認してください。 • すべての原稿束の先端が ADF で中央に配置されているため、各原稿がフィードローラに接触するようになっている。 • フィードモジュールとセパレータモジュールが汚れておらず、消耗していない。 • 独特なタイプの原稿は手動給紙している。
スキャン後にローラの跡または筋が原稿に付く	フィードモジュール、セパレータモジュール、およびドライブローラをクリーニングします。*「メンテナンス」*の項を参照してください。
イメージに縦線が出る	• イメージングガイドをクリーニングします。*「メンテナンス」*の項を参照してください。 • スキャナのキャリブレーションを行います。*「メンテナンス」*の項を参照してください。

スキャナの輸送

接続後にスキャナの輸送が必要になった場合は、元の梱包材料を使用してスキャナを再び梱包する必要があります。元の梱包材料がない場合は、最寄りの販売代理店に連絡してください。

1. コンピュータの電源を切ります。
2. スキャナの電源を切ります。
3. スキャナの後部から電源コードを外します。
4. IEEE-1394（FireWire）ケーブルをスキャナ後部の IEEE-1394 ポートから外します。
5. スキャナの各端に梱包用エンドキャップを付けます。
6. スキャナを箱に入れます。
7. 電源コードと電源アダプタを箱に入れます。
8. 入力トレイと出力トレイをテープで固定します。
9. 箱を閉じます。

   これでスキャナの移動準備が完了しました。

付録 A 仕様

スキャナの種類	i150 スキャナ：オートドキュメントフィーダを備えた片面カラースキャナ i160 スキャナ：オートドキュメントフィーダを備えた両面カラースキャナ
イメージキャプチャ解像度	75 ～ 300dpi のカラーおよび白黒
ADF 読み取り速度	i150 スキャナ／ i160 スキャナ： 40ppm：A4 横（200dpi） 31ppm：レター縦（200dpi）
読み取り出力	白黒、256 色、8 ビットグレースケール、24 ビットカラー
出力解像度	75 ～ 600dpi
ファイル出力形式	カラー： JPEG 圧縮、非圧縮 TIFF グレースケール： JPEG 圧縮、非圧縮 TIFF 白黒： G4 圧縮 TIFF、非圧縮 TIFF
スキャン領域	i150 スキャナ／ i160 スキャナ： 幅： 6.4 ～ 29.7cm（2.5 ～ 11.7 インチ） 長さ： 8.9 ～ 43.2cm（3.5 ～ 17 インチ）
入力トレイ容量	60 g（16 ポンド）のボンド紙 150 枚
推奨処理枚数	i150 スキャナ／ i160 スキャナ：1 日あたり最大 1,000 枚
光源	キセノンランプ
電源要件	100 ～ 127V、AC 50/60Hz 200 ～ 240V、AC 50/60Hz
スキャナ電源	DC24V、4A（動作時）
電源	Phihong PSM 156U-240 *重要： これ以外の電源アダプタモデルや他社製の電源アダプタを代用しないでください。*
スキャナ寸法	高さ： 35.4cm（14.0 インチ）（トレイなし） 36.4cm（14.4 インチ）（トレイ折り畳み時） 幅： 55.88cm（22 インチ） 奥行き： 26.67cm（10.5 インチ）（トレイなし） 30.0cm（11.8 インチ）（トレイ折り畳み時）
スキャナ重量	i150 スキャナ：12.5kg（27.5 ポンド） i160 スキャナ：13.9kg（30.5 ポンド）
ホスト接続	IEEE-1394（FireWire）インターフェイス、6 ピンコネクタ
動作温度	15 ～ 35° C（59 ～ 95° F）
湿度	15 ～ 76％（乾球湿度計）
環境に関する機能	エネルギースターに準拠
消費電力	i150 スキャナ／ i160 スキャナ省電力モード：<9.5W

発熱量	600BTU
高度	最高 2440m（8000 フィート）
騒音レベル	データはすべて、DIN 45635、ANSI S12.10-1985、および ISO 7779 に従い、半無響音室で測定したものです。 • 動作時：< 60dB • スタンバイ時：< 40dB

付録 B 消耗品およびアクセサリ

消耗品を注文するには、最寄りのスキャナ販売代理店に連絡してください。

品目	CAT No.
フィーダ交換キット i100 用 （フィードモジュール 1 個、セパレータモジュール 1 個、プリセパレーションパッド 2 個、ローラタイヤ 24 個）	124 1066
フィーダ交換キット i100 用ラージパック （フィードモジュール 5 個、セパレータモジュール 5 個、プリセパレーションパッド 10 個、ローラタイヤ 120 個）	821 5808
イメージングガイドセット	120 0278
白バックグラウンドアクセサリ i100 用	829 3599
トランスポートクリーニングシート（50 枚）	169 0783
ローラクリーニングパッド（24 枚）	853 5981
静電クリーニングクロス（144 枚）	896 5519

〒 104-0033
東京都中央区新川 2-27-1
東京住友ツインビル
コダック株式会社
コマーシャルイメージング事業部

EASTMAN KODAK COMPANY
Document Imaging
Rochester, New York 14650

www.kodak.com/go/docimaging

Kodak および Digital Science は、
イーストマンコダック社の登録商標です。

A-61514_ja 2004 年 9 月
©Eastman Kodak Company, 2004

DOCUMENT IMAGING

INNOVATION YOU CAN COUNT ON™